

烏帽子会会報

2014年春号 Vol.56



白衣授与・Student Doctor 認定式集合写真(H26.3.29)

- 第33回烏帽子会総会のご案内 4p
- 福岡大学医学部長 就任挨拶 5p
- 福岡大学病院長 就任挨拶 6p
- 福岡大学筑紫病院長 就任挨拶 7p
- 教授退任挨拶 8p

福岡大学医学部同窓会

目 次

・ 会長挨拶		
責任から	……………	高 木 忠 博 3
・ 総会案内		
第 33 回烏帽子会総会のご案内とお誘い	……………	4
・ 医学部長就任挨拶		
医学部長就任のご挨拶	……………	朔 啓二郎 5
・ 福岡大学病院 病院長就任挨拶		
福岡大学医学部同窓会のみなさんにご挨拶	……………	田 村 和 夫 6
・ 筑紫病院 病院長就任挨拶		
筑紫病院長に就任して	……………	向 野 利 寛 7
・ 教授退任挨拶		
退任のあたって	……………	比 嘉 和 夫 8
烏帽子会の皆様へ	……………	瓦 林 達比古 9
・ 会員寄稿		
チキンレースはやめよう	……………	有 吉 孝 一 10
・ 学生対策報告		
実習にむけて	……………	藤 野 貴 久 11
・ 支部便り		
福岡大学医学部同窓会『烏帽子会』		
福岡支部「まかせん会」糸島エリア会 開催の御報告	……………	馬 渡 秀 仁 12
・ キャンパス便り		
平成 25 年度 烏帽子会賞受賞者名簿	……………	14
烏帽子会賞を受賞して	……………	中 山 敦 貴 14
Team	……………	高 岡 千 容 15
柔道愛好会	……………	笠 井 雅 大 15
烏帽子会賞を受賞して	……………	大 隈 瑞 希 16
・ 烏帽子会賞褒賞基準	……………	17
・ 訃 報		
浅尾学先生を偲ぶ	……………	穴 井 堅 能 18
野田万里先生を偲んで	……………	大 城 昌 平 20
故 松岡俊秀先生 追悼文	……………	高 嶋 研 介 20
故 鶴信彦先生へ捧ぐ	……………	渡 辺 大 介 21
・ 医局長・医長名簿	……………	22
・ 教育職員人事	……………	23
・ 研究奨励賞 募集要項／在外研修援助金募集要項	……………	24・25
・ お知らせ／縁結び／事務局からのご連絡	……………	25
・ 編集後記	……………	ウラ表紙

会長挨拶

責任から

烏帽子会 会長 高 木 忠 博 (1 回生 脳神経外科クリニック高木 院長)



良く使われる言葉に「責任」、と云う言葉がありますが、調べてみると「責」は、広辞林で「引き受けて果たさなければならない任務」とあります。「任」は、「になう。まかせる。とう。」と有りますから「任務をになう。」と云う意味を表現する言葉となっています。しかし、英語では、責任は responsibility で response (反応、対応) と ability (能力) と云う言葉の合成語で表現されますから「反応 or 対応能力」と解釈されている様です。この言葉の解釈が東洋と西洋では捉え方が若干違う様に思いました。

今回朔君が、学部長に推挙されましたが、この事は、我々にも大きな「責任」が発生したと思われました。これからは、前述の意味を皆が理解して母校の為に行動して行かなければならないと思います。我々は、母校で教育された「人材製

品」と例える事が出来るかもしれません。従って我々は、何処か大学を見る時に評論家的に今迄見ていたかもしれません。しかし、卒業生が学部長になったと云う事は、我々も責任を持つ当事者に立場が変わった事に我々は、気が付く必要があると思います。医学部長一人だけの努力、責任では理想を実現するのは難しいと思われまます。責任も皆が分担すれば 3819 分の 1 になり、理想が実現すれば 3819 倍の喜びに変わると思っています。ここは各自が自覚して卒業生としての「義務」を果たして行く事が大切ではないかと思えます。この「義務 = Duty」も、behavior due to superior (OX. 辞書) とあり「上位の行儀、品行？」とあり重い扱いの言葉の様です。西洋では、義務第一主義の様で、東洋の責任第一主義の考え方とは大分違うように思いました。要するに義務を果たして行けば責任は後から付随して付いてくるモノ位に考えているのかと思いました。

歴史と云うのは、進歩と問題が共存しながら矛盾を抱えながら成り立っている時間の流れと想います。我々に 35 年目にして初めて学部長が生まれましたが、今迄通りに一つでも問題を解決出来る様に、同窓会は一致団結して協力して行きたいと思えます。一步でも前に前に進化して上質で骨太の医学部を作って行く様に頑張ります。

卒業後 20 年目の再会！

第33回烏帽子会総会のご案内とお誘い

時下、皆様方に於かれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

例年通り下記の要領で烏帽子会総会を開催します。

今年の講演会は福岡大学卒業生初の医学部部長に就任された心臓・血管内科学教授の朔先生にお願いしました。

また幹事学年である平成6年度卒業生の同窓会も兼ねております。

多数のご参加をお待ち申し上げます。

幹事学年世話人／岩朝光利 入江慎一郎 武田研 鋤本祥子

第33回烏帽子会総会 開催要領

- 日 時：平成26年7月5日（土曜日）
会 場：ソラリア西鉄ホテル 8階 福岡市中央区天神2丁目24-3
電話（092）752-5555
- 総 会：17時
講 演 会：17時45分
演 者：福岡大学医学部長 朔 啓二郎 心臓・血管内科学教授
懇 親 会：19時
21時30分／二次会 幹事学年の同窓会
参 加 費：5,000円



平成20年に開催した平成6年卒業生同窓会

ご出席のご返事を、巻頭綴り込みの葉書で6月20日までにお送り下さい。

医学部長就任挨拶

医学部長就任のご挨拶

福岡大学医学部長 朔 啓二郎 (1 回生 / 心臓・血管内科学教授)



朔 啓二郎 医学部長 略歴

S 53.3 福岡大学医学部卒
 S 56.6 シンシナティ大学内科(4年間)
 S 60.4 福岡大学病院
 内科第二医員
 S 60.11 福岡大学医学部
 内科学第二 助手
 S 63.4 福岡大学病院
 内科第二 講師
 H 12.4 福岡大学医学部
 内科学第二 主任教授
 H 17.12 ~ H 19.11
 福岡大学病院副院長
 H 19.4 ~ 現在
 福岡大学医学部
 心臓・血管内科学
 (講座名称変更) 主任教授
 H 25.12 より
 福岡大学医学部長

日本内科学会認定総合内科専門医、
 循環器専門医

日本循環器学会理事

日本心臓病学会理事

Fellow of American College of
 Physicians (FACP)

Fellow of American College of
 Cardiology (FACC)

受賞：

荒川賞、日本医師会医学研究助成等

平成 25 年 12 月 1 日より第 11 代医学部長に就任しました。私は本学医学部第 1 回卒業生(昭和 53 年)です。卒業後、第二内科(荒川 規矩男 名誉教授)に入局し、1981 - 1985 年、米国シンシナティ大学内科に留学、その後、助教、講師を経て 2000 年から現在の心臓・血管内科学の主任教授を務めています。学部長就任においては、多くの教授会メンバーからご支援をいただきましたこと、有り難く感謝しています。

日本全国、医学部人気です。福岡大学医学部も一般入試 80 名の枠に対して、センター試験も合わせると 45 倍の競争率になります。多くの受験生が入学を希望する明るく楽しい大学になってきたことを肌で感じています。創立 80 周年を迎える本学のハードや環境は整ってきたのですが、医学部の在り方、方向性をもっと明確化・活性化したいと考えています。臨床講座の視点から考える医学部の構築は、私が強調できることと思っています。

教授就任時、ある先生の「勉強だけしておきなさい、その他は何もなくていい」とのお言葉をいつも心に念じていたのですが、学部長は本学を卒業した私にとって集大成の仕事と考えていました。何事も多くの理解がえられるシステムを作って行こうと思います。百の議論より一つのアクションです。医学部全体の教育、研究のアウトカム作りを具体的に推進・活性化したく考えています。また、医学生としての自覚を引き出すプログラムが重要だと感じます。Passive から active な医学生へ、臨場感のある生命や医学の実践的教育が必要です。そのためには、学部と病院を一体化した取り組み、ロールプレイによる全体の底上げ、クリニカルクラークシップの充実などがポイントです。国家試験合格率低迷からの脱出は避けられない課題ですが、長期的、短期的に問題解決に向かって努力します。医学部国際認証や品質保証のための様々な取り組みにチャレンジしていく所存です。大学の機能強化・ガバナンスの在り方が問われている時代ですので、乗り遅れないよう取り組みます。医学科卒業生 3,819 名を輩出した母校医学部の発展のためにさらに尽力したく、烏帽子会の皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、よろしく願いいたします。

福岡大学病院 病院長就任挨拶

福岡大学医学部同窓会のみなさんにご挨拶

福岡大学病院 病院長 田村和夫 (特別会員 / 腫瘍・血液・感染症内科学教授)



田村 和夫 福岡大学病院
病院長 略歴

- S 49.3 九州大学医学部医学科卒業
- S 58.9 医学博士 (九州大学)
- S 49.6 九州大学第一内科研修
- S 50.7 マウントサイナイ病院系
エルムースト総合病院内科
インターン、レジデント
- S 53.7 ロズウェルパーク記念
研究所腫瘍内科学フェロー
シップ
ニューヨーク州立バッファロー
大学医学部助手
- S 55.8 宮崎県立宮崎病院
内科副院長
- S 56.4 宮崎医科大学第二内科助手
- S 57.1 宮崎県立宮崎病院内科医長
- H 9.10 ~ 現在 福岡大学医学部
内科学第一 (現 腫瘍・血液・
感染症内科学) 教授
- H 9.1 ~ H26.1 福岡大学病院
第一内科 (現 腫瘍・血液・
感染症内科)
同 診療部長
- H19.4 ~ H26.3 福岡大学病院
腫瘍センター長
- H25.12 ~ 現在 福岡大学病院
病院長

日本臨床腫瘍学会 (評議員・理事)
日本リンパ網内系学会 (評議員・理事)
American Society of Clinical Oncology
American Association for Cancer Research
International Gynecologic Cancer Society
European Society for Medical Oncology
…他

2013年12月より病院長を拝命しあつという間に3ヵ月が経ち、寒かった冬から春めいた季節になりました(3月1日、2014年の時点)。本号が出るころはもう強い日差しがさしている頃と思います。

米国会衆国大統領の施政に対する評価は、就任して何か月かは様子見の期間とされて評価を控えるということがあります。当院では初めての内科系医師の病院長ということもあり、私の耳には聞こえてきませんが、そろそろいろんな評価が出ているのではないかと思います。福岡大学病院は1973年の開院から早くも40年が経過し、3千数百名の医学部学生が当院で研修を受けて旅立っています。高木同窓会会長をはじめ多くの卒業生が医育機関や病院・診療所で活躍し、医師会においても一定の地位を得ていることを誇りに思っています。

私は1974年、九州大学医学部卒業後、一般内科、腫瘍内科の研修を米国でしました。1980年に研修を終えて日本に帰ってきてまず感じたことは、日本の医学生、若手医師は知識や技術において米国の彼らと大きな差はありませんが、臨床力がかなり劣っていたことでした。このことは米国に行く前から分かってはいたことですが、1970年代前半に無給インターン制度から臨床研修制度に移行されていたにもかかわらず、患者を全身的、全人的に診療するための学生・卒後研修システムが十分機能しなかったことがその一つの要因と考えられました。

福岡大学に1997年に赴任してきてより、学部教育、若手医師の教育に力を注いできました。M5の臨床実習に入る前のOSCEの開始(第1版のテキストの作成責任者)、教育カリキュラムにおける講義の集約化(臨床系カリキュラム検討委員会責任者)、大学院の実質化(学務委員、研究科長)、新臨床研修制度への移行、治験審査委員会(現臨床研究支援センター)ならびにCOI委員会の設立(副院長)などいろいろしてまいりました。ただ、実を上げることの難しさを日々実感しております。これからも、病院をあげて本当のプロフェッショナル、人材の育成に取り組んでいきたいと思っています。

ここまでは、医師の話しが中心でしたが、看護師、薬剤師、その他の医療者も同様で、強いプロ意識を持った医療人が少ない印象を受けます。我々は各人の能力を高め、有機的に連携し医療の質を高めていく必要があります。これからの当院のキーワードは「連携」、キャッチフレーズは「明るい、暖かい病院」、そして診療、教育、研究のバランスのとれた「特定機能病院」を目指しています。同窓会のみなさまには、いままでにもましてご指導、ご援助をお願いしたいと思います。

筑紫病院 病院長就任挨拶

筑紫病院長に就任して

福岡大学筑紫病院長 向野利寛 (特別会員/眼科教授)



こうの としひろ
向野 利寛 筑紫病院
病院長 略歴

- S 49.3 鳥取大学医学部医学科
卒業
 - S 49.6 九大眼科入局
 - S 54.4 鳥取赤十字病院
眼科長
 - S 58.4 産業医科大学眼科
 - H 2. 4 福岡大学医学部
助教授
 - H 2.10 福岡大学筑紫病院部長
助教授
 - H 18.4 同上 教授
 - H 25.12 ~ 福岡大学筑紫病院長
- 現在に至る

平成25年12月1日付けで筑紫病院長に就任した向野です。専門は眼科です。病院長業務が始まって、3ヶ月が過ぎました。筑紫病院長が他の大学役職者の方と違う点は、筑紫病院が七隈から車で約30分の筑紫野の地にあることです。そのため、いろいろな会議に出席するためには筑紫から車を飛ばすか、西鉄電車・地下鉄を乗り継いで行くしか方法はありません。会議開始の約1時間前から動き始めることとなります。このことが最も私を悩ませています。外来を途中で止めたり、手術を延期したりすることもあります。また、会議を終えて、大至急で筑紫病院に戻ることも多くあります。病院長業務にもっと専念出来る日が来ればと思っています。

さて、私は1990年4月から福岡大学にお世話になっています。当初は七隈にいましたが、筑紫病院に眼科を開設するのに合わせて筑紫病院に移りました。その頃の病院は手狭で、エアコンの効きが悪く、夏暑く冬寒い病院でした。この頃から病院を新築したいとの願望がありましたが、なにせ赤字病院であり、また、筑紫地区の医師会との折り合いも悪く、福大筑紫病院がここにある意味があるのか、といった意見も聞かれました。一時は閉院するとの話もありました。何とか赤字から脱して新病院を建てたいとの強い思いから、病院の職員全員で考え、病棟の改築と共に救急医療を開始して救急車の受け入れを始めました。さらに病棟使用の効率化を図るために、病棟の再編、全病床の混合化を進めました。この結果、平成12年以降病院経営は黒字基調となりました。また、地域医療機関との連携を進め、平成19年4月に地域医療支援病院の認定も受けることが出来ました。そうして平成25年5月7日に新病院の開院にこぎつけました。医師・看護師・医療技術職員・事務方など全員が同じ目的意識を持ってやってきた結果と考えています。また、同窓会を含めて大学、医学部関係者のご理解、ご支援があったからこそ、と感謝しています。建物の新築によって広さは1.8倍になり、病棟は広く快適です。病室は個室と4人部屋のみです。病院食は美味しく、患者さんからも好評です。ICU、HCUも強化し、救急部を4月から救急科として再発足、救急指導医の資格を持った診療部長のもと、救急医療も充実させて行きたいと考えています。また、外来診療にはかなり余裕ができました。筑紫地区の先生方からは新病院が出来てから、「筑紫病院紹介を希望する患者さんが増えた」とのうれしいお話も聞いています。しかし、積み残した問題もあります。一つは筑紫地区の容積率の関係から、医師のいる場所が狭い状態にあることです。准教授でも二人一部屋です。この状態の改善が喫緊の課題と考えています。また、職員のアメニティーも七隈地

区と違って、ほとんどありません。職員食堂にしても決して満足のゆくものではありません。この点も少しずつ改善して行きたいと考えています。

福岡大学筑紫病院は福岡大学メディカルゾーンの一員ではありますが、福岡大学病院とは目的、性質が少し異なります。筑紫地域約45万人の医療圏の中心病院として、最新の医療を提供しつつ地域の医療を支える役割があります。これらの役割を自覚しながら旧病院に比べて約1.8倍に広がった建物をうまく利用して質の高い医療を提供してゆきます。その結果として収益性が高まり、さらに多くの投資ができて全職員が喜んで働ける良

い職場環境を整えて病院の価値が高まれば良いと考えています。また、筑紫病院はその大きさからして使い勝手の良い病院と思います。筑紫地区にも福大医学部出身の開業医の方が増えています。筑紫地区の同窓会の先生にもその診療に筑紫病院を十分に利用して頂けるようにも考えてゆきたい、そのための知恵も拝借したいと思っています。

七隈からは離れた場所にありますが、今後も福岡大学の一員としての自覚を持って、地の利を生かしてしっかりと立場を固めてゆく所存です。今後ともご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

教授退任挨拶

退任にあたって

前福岡大学医学部麻酔科学 教授 比 嘉 和 夫 (特別会員)



平成26年の3月で65歳の定年を選択し、退職いたしました。同窓会誌に挨拶をさせていただき機会をいただき感謝を申し上げます。

私は1973年に九州大学を卒業して、すぐに福岡大学病院の当時の内科第一(奥村 恂教授)で臨床研修を始めました。当時の臨床研修開始は6月1日からでしたので、5月の1カ月間を、5年生の時に学生担当のある外科医の「医者は救急蘇生をできないと医者じゃない」という一言が気になっており、当時は救急蘇生を教育していたのは麻酔科だけでしたので麻酔科の檀教授に1カ月間の見学をお願いしました。

当時の麻酔科は檀教授と蒲池、松元、米本(あいうえお順)先生の3名でした。内科第一は奥村教授、西丸助教授、浅野、岡田、亀井、佐々木、富岡(あいうえお順)先生の7名でした。麻酔科を5月だけ見学して6月1日からは内科の研修を開始する予定で

したが、6月からは午後3時ごろまでは麻酔科で午後3時以降は内科の研修をするという超法規的なことをさせていただきました。

その後、麻酔科での研修が3カ月、半年となり、2年目からは麻酔科の助手にさせていただきました。1カ月間の見学者が麻酔科の責任者になるとは全く思っていませんでした。しかし、この転科した経験は、麻酔しかできないような医者にならないようにと、皆にお願いができるようになり、麻酔科を研修して他の専門を目指した若い方々を、心から頑張れよと送り出すことができるようになっていきます。

私どもの時代は臨床研修のプログラムなるものは皆無だったと思います(もし、あったのでしたらお許してください)。従いまして、臨床研修は何を教えるかということではなく、自分たちで何を勉強するかという意欲があったと思います。私が臨床研修センター長として学生の方々をお世話していた時に、学生の方々から「どこがよく教えてくださいか?」という質問を受けた時に、「どこがよく教えてくれるということよりも、自分は何を勉強し、新しく何を作りたいのか」ということを考えませんか、と言っていました。何人かの方には、私が思っていることを理解してもらえたような気が

しております。

福岡大学を卒業して、他施設で臨床研修をされる方々が増加しております。他施設の良い点を体験することは素晴らしいことだと思います。そして、できたら他施設での素晴らしい経験を福岡大学病院・

医学部に還元していただけることを期待しております。

長い間有り難うございました。感謝申し上げます。

教授退任挨拶

烏帽子会の皆様へ

前福岡大学医学部産婦人科学 教授 瓦 林 達比古 (特別会員)



私こと、平成 26 年 3 月 31 日をもって福岡大学を退職いたしました。平成 3 年 4 月に福大赴任以来、23 年間に亘って皆様にご厚誼、ご指導、ご鞭撻頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

誠に有難うございました。

振り返りますと、烏帽子会の高木会長、重田、朔、林副会長を始め、幹部の先生方と特に頻繁にお会いするようになりましたのは、当時の故菊池副学長により福大病院新館建設計画を決めていただいた頃からであったと思います。私は平成 15 年頃に白日元病院長の下、新館建設検討委員長として素案を作成したのですが、17 年に病院長に選出されましたので、それから詳細設計にも携わることになりました。幸いにも、同窓会副会長の朔先生には副院長に就任いただいていたので、同窓会の要望等を組み入れた計画作成には大変心強かったのですが、これも人との出会いの巡り合わせであったと思います。特に、メディカルホールの規模の拡張やその奥の同窓会ラウンジの設置につきましては反対意見もあり、朔先生ともども承認まで大変苦労したことを思い出します。最終的には、現在全学的に利用いただいている立派なホールや同窓会ラウンジやメディカル・フィットネスセン

ターを付設した新館が実現できて、関係者一同一安心したものです。新館につきましては、最初から病院規模や予算面で制約があり、その中で烏帽子会会員諸氏の母校である福大病院に、2012 年第 25 回市都市景観賞に輝いた新館ができたことは大変な喜びでした。ここで振り返りますと、この建設が成功した最も重要なポイントは、烏帽子会における募金活動であったと思います。全会員一丸となった 1 億円を超えるご寄付に接し、母校愛で結集された皆様の大きな力に感激いたしました。皆様のあの熱い思いは忘れることができません。

私は当時、この事業を契機に福大医学部・病院の機構や意識改革、ひいては福大全体の向上に資する「健康まちづくり」の核を病院にできないかと考えていました。9 学部からなる福大教職員が、もっと病院機能を理解し利用するようになれば、福大のスケールメリットがもう一段飛躍すると信じてきました。これは、日本各地で地域完結型医療の推進や健康・医療・介護が連携した「健康まちづくり」が提唱されている今こそ、確信を持って言えると思います。後輩諸氏の奮起に期待いたします。

今後は、大学生活 40 年を卒業して活動の場を公益財団法人福岡県すこやか健康事業団に移しますが、ここは日本対がん協会福岡県支部も兼ねておりますので、理事長として健診データの統合やがん研究助成等を通じた「健康まちづくり」に尽力して行きたいと考えております。皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。長い間お世話になりました。

チキンレースはやめよう

神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター長

京都大学医学部 臨床教授 有 吉 孝 一 (14 回生)

最近、唾然とした出来事があった。

京都大学学生臨床実習の会に出席した時の教育部長挨拶。

「京大の学生は臨床医なんか目指していない。世界のリーダーを目指している」

それに対して、ある受け入れ病院側院長

「臨床やりたくなかったら来るな!!」と怒鳴るのかと思いきや

「優秀な京大の学生さんに臨床なんかさせていいのか、悩んでいる」

1、研究者 2、臨床医 というヒエラルキーが存在する。ノーベル賞を目指すのだけれど、医師免許も念のためとっておく というのは恰好良い。研究者ならずとも、森鷗外、手塚治虫、北山 修、北杜夫、マイケル・クライトン・・・才能あるものは皆、医師免許を持ちながら別の分野で名をなした。

さらに、努力せずに成功するのが一番良い。努力して成果がでる、努力しないで成果がでないのは、あたりまえである。努力して失敗するのが一番恰好悪い(表1)。わが福大医学生の、勉強しない自慢は20年以上前から存在した。要するに1番目ができるふりをして4番目だけは何とか避けようとしたところで、3番目に落ち着くのである。そして我々と国立大学との違いとは、努力する習慣があるかないかである。

大学時代に遊んでおく必要はない。実力がないのに、親の金で遊ぶのは常に不安である。実力をつけてから、身銭を切って堂々と遊びたまえ。ずっと楽しいから。勉強の仕方はどうでもよい。ただやるだけである¹⁾。大学は国家試験対策を教えるところではなく、合格率が低いのは医学部長や教授陣のせいではない。自ら成果をあげる存在にできるのは自らだけである²⁾。先輩のまねをして、ぎりぎりまで努力しないチキンレースはもうやめよう。

医局ボックスに第108 医師国家試験大学別合格率が入っていた。ほとんどが京都大学出身の当院にあって、唯一の福大出身者に対する、嫌味に違いないと僻んでいる。

表1 人生の格付け

- 1、努力せずに成功
- 2、努力して成功
- 3、努力しないで失敗
- 4、努力して失敗

引用文献

- 1)本居宣長 「宇比山踏」
- 2)PFドラッカー「プロフェッショナルの条件」

学生対策報告

実習にむけて

藤野 貴久 (M5)

本日はこのような立派な白衣授与・Student Doctor 認定式を執り行っていただくと共に素晴らしい白衣を授与していただき、誠にありがとうございます。烏帽子会の皆様方並びに福大病院の先生方に5年生一同を代表して御礼申し上げます。

今年度より正式に Student Doctor が生徒に与えられるようになりました。その初年度に学年代表として挨拶させていただくことは大変光栄であるとともに身の引き締まる思いです。

私達はこれまで4年間授業を中心として必死に医学知識を蓄えてきました。しかし、これらはあくまでテキスト上での勉強です。これからの実習では患者さんを目の前にして、それらの知識を臨床の現場でどのように活かすのかを学んでいきたいと思ひます。また医学についてだけでなく、自分が社会人の一員であるという自覚を持って人と人とのコミュニケーションを大切にしたいと考えています。臨床経験のない我々にとってBSLは不安であるとともに楽しみでもあ

ります。この1年半を有意義なものにできるように Student Doctor であるという自覚と責任を胸に実習に臨みたいと思ひます。

1年半という限られた実習期間の中で積極的に実習に取り組み、自分だけでなく学年全体で大きく成長し全員が国家試験に合格できるように一致団結して頑張っていく所存です。短いですが、以上を御礼の言葉とさせていただきます。

平成26年3月吉日 5年生総代 藤野 貴久



支部便り

福岡大学医学部同窓会『烏帽子会』福岡支部「まかせん会」 糸島エリア会 開催の御報告

馬渡産婦人科院長 馬 渡 秀 仁 (8回生)

去る平成26年1月29日、糸島市前原中央の『割烹丸一』において、福岡大学医学部同窓会『烏帽子会』の糸島エリア会が開催されました。

筒井隆一エリア会会長（3回生）の下、富田昌良糸島医師会病院長（7回生）の声掛けにより、同窓会福岡支部：まかせん会より、権藤公和、笠健児朗、木村史郎各会員の参加もあり、参加総数22名に上る盛会となりました。これはエリア会員総数の約72%にあたる高い出席率でした。



当日は、まず、最初に、富田先生より今般の会、開催に至る経緯。さらに、筒井会長より、発会以来、現在に至るまでの状況説明がありました。また、権藤理事より医学部同窓会の活動・支部組織の現況についての報告説明の後、笠理事より支部並びにエリア会の運営状況についての解説もありました。





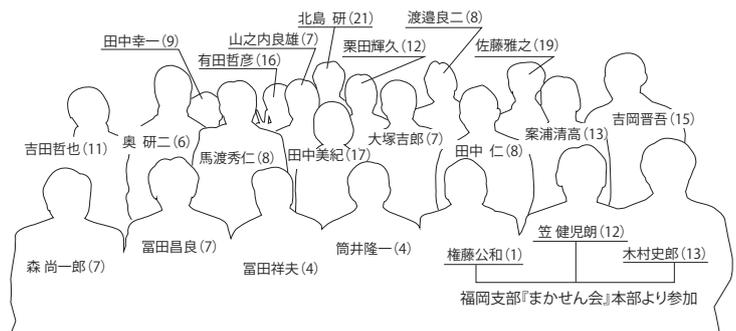
その後、各会員の自己紹介並びに現況報告の後、糸島の美味しい肉・魚・野菜に舌鼓を打ちながら、和気あいあいの歓談が続きました。

また、今年度からは渡辺良二（8回）、田中美紀（17回）、田中 仁（21回）の各先生も新たにメンバーに加わられた事も付け加えておきます。



宴も闌、デザートを食べ忘れが沢山出るほどの盛り上がり様でしたが、閉店時間を迎え、後ろ髪をひかれる様な想いの中、お開きとなりました。

10年ひと昔と申しますが、会員の相当数が当地糸島にて、10年以上の長きにわたって医業を営んでおり、これからもより一層の連携・協力を続けて行くことになりそうです。



(写真提供：北島 研)

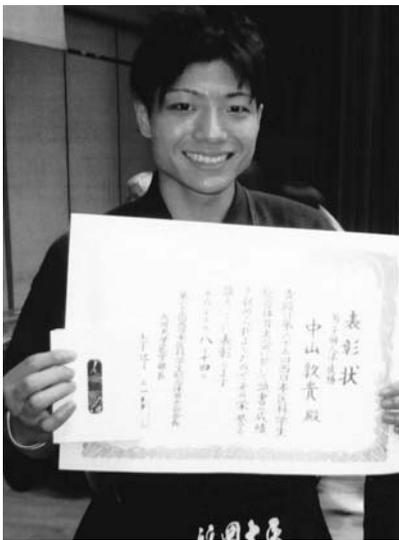
キャンパス便り

《平成 24 年度 烏帽子会賞受章者名簿》

受賞者	姓名	受賞対象
柔道愛好会	竹山 文徳	特別表彰
水泳愛好会	高岡 千容	平成 25 年度第 52 回九州山口医科学生体育大会 女子 100M バタフライ第 1 位
柔道愛好会	団体表彰	平成 25 年度第 52 回九州山口医科学生体育大会団体戦優勝
柔道愛好会	梅谷 啓太	平成 25 年度第 52 回九州山口医科学生体育大会軽量級個人戦優勝
フットサル愛好会	団体表彰	平成 25 年度第 52 回九州山口医科学生体育大会優勝
準硬式野球愛好会	団体表彰	平成 25 年度第 52 回九州山口医科学生体育大会優勝
弓道愛好会	高橋 篤史	平成 25 年度第 52 回九州山口医科学生体育大会個人準優勝
剣道愛好会	中山 敦貴	第 65 回西日本医科学生総合体育大会 個人準優勝
水泳愛好会	高岡 千容	第 65 回西日本医科学生総合体育大会 個人女子 100M バタフライ第 2 位、400M 自由形第 2 位
柔道愛好会	団体表彰	第 65 回西日本医科学生総合体育大会 団体 3 位
柔道愛好会	団体表彰	全医体柔道部門王座決定大会団体戦準優勝
バスケットボール愛好会		第 65 回西日本医科学生総合体育大会 女子バスケットボール愛好会第 3 位
バスケットボール愛好会		第 47 回全日本医科学生体育大会王座決定戦 女子バスケットボール愛好会準優勝

烏帽子会賞を受賞して

剣道愛好会 中山 敦貴 (M4)



私は、第 65 回西日本医科学生体育大会の剣道部門において、準優勝することができました。そして今回烏帽子会賞をいただきましたことを、心より感謝致します。

私は、8歳のころから剣道を続けています。今年で 15 年目になり、人生の半分以上剣道をしていることとなります。その間には、練習や試合で嫌なことがあったり、勉強との両立がきつくなったりし、何度も剣道を辞めたいと思うことがありました。その度に「継続は力なり」という言葉をかみしめ、地道に努力を続けてきました。今回このような成績を収めることができ、今まで続けてきたことが結果として表れたことを、とても嬉しく誇りに思います。

私達、剣道愛好会は今回の西医体で主幹校となり試合の運営や準備も行いました。大会参加者 800 人と審判員、補助員 100 人集まる大きな大会を、部員わずか 14 人でまとめ無事に終わることができ、言葉に出来ない達成感をえました。不安や大変なこともありましたが、大会を終えてみると大会前よりチームの和が強くなり、本当に良い経験をすることができました。これは、部員全員の「西医体を成功させよう」という気持ちがひとつになり、自分の出来る事以上の事を行ったからだと思います。愛好会には、体力作りくらいの運動をしたい、大会で結果を残したい、など各自それぞれが色々な思いをもっていると思います。その思いを強引にひとつにするのではなく、皆が納得できる共通の目標をたて、それを協力して乗り越えれば、おのずとチームがひとつにまとまるのではないかと思います。

大会運営に協力して下さった先生方、先輩方、共に大会に臨んだ仲間、いつも応援してくれる両親への感謝の気持ちを忘れず、これからも文武両道で頑張っていきたいと思います。

Team

水泳愛好会 高岡千容 (M6)

こんにちは、高岡千容と申します。今回私は福岡大学医学部水泳愛好会の好きなところを書きたいと思います。

この愛好会では様々な目的を部員一人一人が持っています。速くなり大会でいい成績を残したい人、体力向上のために泳ぐ人、長い距離を泳げるようになりたい人。私は速く泳げるようになりたいと思い、日々練習に励んでいます。泳力も様々で普段練習は初級、中級、上級で分かれています。一見バラバラな感じ

がするかと思いますが、お互いがお互いの目標を尊重し、みんなで楽しんで泳げる、活動できる雰囲気を作っています。私はそのような雰囲気が好きで、のびのびと泳がせてもらっています。

毎年3月の合宿では1日2回、1回2時間泳ぎます。3泊4日の合宿は楽しいですが、練習は本当に大変です。初級、中級、上級で泳ぐ距離は違いますが、それぞれ限界に挑戦する3泊4日です。練習前は、練習嫌だな、もっと楽な練習にならないかな、

とネガティブな発言ばかりです。ですが練習になると一生懸命泳ぎます。そんな切り替えがきちりできる雰囲気が好きです。今年も合宿でしっかり泳ぎました。

今年度の大会がもうすぐ始まります。大会では個々の力に合わせた目標に向かって、日々の練習に励みたいです。私も大会でいい成績を残し、またこの烏帽子会報でご報告したいです



柔道愛好会

福岡大学医学部柔道愛好会 主将 笠井雅大 (M3)

この度は烏帽子会賞をいただきまして誠にありがとうございました。私たち福岡大学医学部柔道愛好会は昨年度西日本医科学生体育大会柔道部門にて三位という結果を残すことができました。

福岡大学医学部柔道愛好会は、昨年度の成績を除いて一昨年までで九州山口大会を二回、西医体を二回連続して優勝し、全医体では準優勝という成績を収めてきました。ところが、昨年度では頼り強かったレギュラーの先輩方が引退し、ほとんど新たなメ

ンバーにて大会に臨まなければなりません。また、主将として初めての指導から西医体の福岡大学、九州大学、産業医科大学の三校による合同開催における主管としての仕事、人数不足によって練習が二人しかいないこともある現実の中で挫けてしまう場面はいくつもありました。しかし、そんな中で顧問の先生方やOBの先生方、コーチ、先輩、友人達が様々な所で手を差し伸べて挫けそうな自分を支えていただきました。そうした結果が今年九州山口大会

優勝、西医体にて三位を経て主管を成功させ、烏帽子会賞受賞へ結びついたのでと思います。それらを通して感じたことは一人では何もできないということです。自分一人でできることは自分一人分のことしか成しませんが、大きなことを成すことはできません。大きなことは多くの人たちと支え合い、共に行うことで初めて成すことができるのだと思います。このことは私の生涯において貴重な経験になったと思います。

最後になりましたが、これまでにお世話になった顧問の先生方、OBの先生方、コーチ、先輩方、友人達、そして授賞して下さった先生方に改めて

感謝の意を表すとともに、これからの福岡大学医学部柔道愛好会を末永く見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



烏帽子会賞を受賞して

バスケットボール愛好会 大隈 瑞希 (M5)

こんにちは、女子バスケットボール愛好会です。この度、昨年度の西医体第3位、全医体準優勝という成績により、烏帽子会賞を受賞させていただきました。

昨年のチームは西医体ベスト4を目標とし練習に励んでまいりましたが、なかなかうまくいかず不安に思うことも多々ありました。しかし、引退する6年生と少しでも長くバスケットをしたいという一心で、試合に出ているメンバーだけでなく看護学科やマネージャーを含めたチームの一人一人が自分の役割を果たし、試合を勝ち進んでいくことができました。また、福岡県内での開催ということもあり、男子バスケ部のみなさんだけでなく多く

のOB・OGの方々や同級生が応援に来てくださり、ベンチやギャラリーと一体となって勢いのあるプレーをすることができました。そして、このような結果を残すことができたのも、いつもお忙しい中体育館に足を運び、バスケットだけでなく人として大切なことを教えてくださったコーチのおかげです。本当にありがと



うございました。

西医体の結果をうけ、全医体への出場権を獲得し、OB・OGの皆様のご援助により全医体に出場することができました。バスケットボール愛好会としては設立以来二度目の全医体で、バスケットだけでなく、東医体の大学と交流する場ともなり、大変貴重な経験をすることができました。OB・OGの皆様にはこのような機

会を与えていただき心より御礼申し上げます。

昨年の夏で新チームに移行し、また新たな目標をもって日々練習に励んでいます。今年の西医体でもよい成績を収められるよう頑張つてまいりますので、これからも変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

福岡大学医学部同窓会 烏帽子会賞褒賞基準

- (目的) 福岡大学医学部同窓会 (以下烏帽子会という) は、その所属する学生会員が対外試合または活動において優勝し或いは優秀な成績を収めた場合、その団体または個人に対し、その榮譽を讃え賞状、賞金または賞品を授与してこれを表彰する。
- (賞の名称) この賞を烏帽子会賞という。
- (対象試合等) 表彰の対象となる試合または活動とは、概ね西日本医科学生総合体育大会、九州 山口医科学生体育大会を含むその規模以上のものを云い、内容は単に体育関係のみならず学術、芸術等多岐に亘るものとする。
- (申告書の提出) 烏帽子会は烏帽子会が表彰に値すると認めた団体または個人、或いは自ら表彰を希望する団体または個人に対し、烏帽子会賞申告書及び賞状の写しをを提出させる。
- (表彰の審査) 表彰の審査及び賞金額の決定は理事会において行う。
賞金または賞品の支給基準額は別表の通りとする。
- (表彰) 表彰は総会、理事会等の席上で行い賞金を授与し会報に掲載する。
付則 1, この基準は平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
2, この改正基準は平成 22 年 1 月 15 日から施行する。

別表) 烏帽子会賞の基準

		西医体：A	全医体：B	九山：B	その他：C
団 体	優 勝	A-1 50,000円	B-1 30,000円	B-1 30,000円	C その都度判定
	準優勝	A-2 40,000円	B-2 20,000円	B-2 20,000円	その都度判定
	3 位	A-3 30,000円			
	4 位	A-4 20,000円			
個 人	優 勝	A-3 30,000円	B-2 20,000円	B-2 20,000円	C その都度判定
	準優勝	A-2 20,000円	B-1 10,000円	B-1 10,000円	その都度判定
	3 位	A-1 10,000円			
	4 位				

※但し烏帽子会賞は同一大会に1個とし、上位の成績を表彰する参加チーム数の少ない場合は理事会にて減額することができる
5年連続受賞においては殿堂入りと賞する

該当する団体・個人の方へお願い

大会の結果をお知らせください

申請用紙は同窓会事務局にあります

顧問の先生の署名・捺印、賞状が必要です

ご不明な点のご遠慮なく同窓会事務局におたずねください

訃 報

特別会員	浅尾	學先生	平成 25 年 10 月 10 日ご逝去 (心臓血管外科学)
正会員	松岡	俊秀先生	平成 25 年 4 月 2 日ご逝去 (6 回生)
正会員	鶴	信彦先生	平成 25 年 12 月 22 日ご逝去 (2 回生)
正会員	野田	萬里先生	平成 26 年 1 月 2 日ご逝去 (1 回生)
正会員	前原	俊徳先生	平成 26 年 2 月 4 日ご逝去 (5 回生)
正会員	萱場	光治先生	平成 26 年 2 月 18 日ご逝去 (14 回生)

浅尾学先生を偲ぶ

引野口循環器クリニック院長 穴井堅能 (2 回生)



福岡大学医学部心臓血管外科初代教授浅尾学先生が昨年10月10日にご逝去されました。御年91才でございました。

浅尾先生は昭和21年に九州帝国大学医学部医学科をご卒業され、

医学博士の学位取得後、昭和30年から九大第一外科の医局長、講師併任、昭和32年に心臓外科研究のために米国へ留学されています。昭和35年より37年まで九州厚生年金病院外科部長、昭和38年より九州大学医学部講師をされ、昭和42年に門司で桜町診療所を開設され昭和50年まで診療されていました。

その後、昭和50年から福岡大学病院心臓外科所属の教授に就任、昭和53年より医学部心臓血管外科の教授になられています。

九大一外科時代には長崎に出張され原爆の後の熱傷のケアをされていたそうで、当時の患者さんが

浅尾先生を何年も探されて、ついに最近になって再会できたという出来事があり、テレビでその特集が組まれました。我々もそのテレビをみせてもらい大変感動しました。その当時から患者さんに一生懸命に接しておられた浅尾教授の一面を見せていただいた感があります。

また開業されていて医学部の教授になられたという極めて珍しい経歴の教授です。浅尾先生の心臓外科に関する幅広い知識、旺盛な探究心、高潔で誰からも信頼されるお人柄、是々非々の立場で発揮されるリーダーシップなどなど教授としてふさわしいと皆様から高く評価されての事だと思います。浅尾先生が開業されていた門司で「私は福大の心臓外科の出身です」と言いますと、年配の先生は嬉しそうに「あなた、知っとうね、浅尾先生はここで開業しとったとよ」とお話しされます。今でも門司では浅尾教授は伝説の人物のようでした。

私は昭和54年に入局しました。その当時、医局には浅尾学教授、赤岩洋助教授、渋谷尚郎講師、滝沢佐武郎先生、宮脇仁先生、前年まで庄野寛栄先生、1年上の研修2年目に鬼村修太郎先生、松吉哲二先生がおられました。医局の雰囲気は浅尾教授のお人柄か、実に家庭的な雰囲気でした。手術も全員で関わっており、当時の手術は長時間であったので殆どの医局員が泊まり込みでした。人工心肺を交代でまわし、手術の手洗いをみんなで交代し、全員で

患者さんに向き合っていました。浅尾教授もみんなが帰って下さいとお願いしても、いつも手術の時は教室に泊まられていました。我々は手術室のラウンジや当直室で仮眠をとるのですが、浅尾教授は同じ所だとみんなが気を遣うといわれ、わざわざ遠い場所の医局で休まれていました。そのように医局員にも優しい、非常に責任感の強い教授でした。

その当時から「常に患者さんの事を考えておきなさい」としょっちゅう言われておりました。手術の時も回診の時も、私はよく怒られていました。今になって想えば患者さんのためにという事もありますが、しっかりと医局員を育てようというお気持ちが大きかったのだと思います。初代教授でこれから福大の心臓血管外科を作っていくという意気込みが感じられ、医局員の指導や学生の指導には顔を真っ赤にして熱弁をふるわれていました。特に我々、卒業生は「あんたたちが頑張らんでどうするね」「もう少ししっかりせんかね、自分たちの学校やろうが」などと叱咤激励されていました。学会のスライドや原稿も1枚1枚チェックされ何回となく作り直しをさせられました。学生の指導も「今の学生はつまらん、自分のためやろうもん、ちゃんと勉強させんといかん。このままじゃ福大はつまらんばい。」といつも怒っておられました。自分の学校、自分の教え子という意識が強く、学生にも厳しかったが愛をもって接しておられました。国家試験の頃になると「良い問題というのはね」と試験問題の作り方の講義から始まり国家試験形式の問題の膨大な量のストックもされていました。

一旦仕事を離れると、好々爺という感じの先生で、医局ではしょっちゅう冗談やダジャレを言われていました。アルコールは全く飲めない先生で奈良漬けでも顔が真っ赤になるくらいでした。またゴルフが好きな先生で（私はゴルフをしないので浅尾教授の腕前は分かりませんがお上手だったようです）、1年先輩のM先生は浅尾先生に迎えに来てもらってゴルフをして食事、お酒までごちそうになり、最後には自宅まで送ってもらったことがあるとお聞きしています。何という人が良い教授でしょうか。何という厚かましい研修医でしょうか。

夏には毎年、当直医以外医局員みんなで久住登

山に行っていました。医局員の家族も一緒です。毎年大きくなっていく医局員の子供さんたちを見ていた浅尾先生の嬉しそうなお顔を思い出します。当時ワングル部の顧問もしておられ、心臓外科の久住登山には毎年医学部のワングル部が数名手伝ってくれていました。また湯布院に別荘をお持ちで久住登山の帰りに別荘に遊びに行ったこともあります。平成4年3月に定年退職されましたが、晩年は奥様と湯布院でお暮らしになっておられ、自然が大好きな先生でした。

浅尾先生は御自分は水戸黄門のようですが、実は必殺シリーズの中村主水が大好きで、勧善懲悪を地でいく熱血漢でした。曲がったことや納得のいかないことには徹底して戦う先生で、教授会でも何回となく怒って帰ってこられ、その後も納得いくまで議論されるので他科の教授や病院長、医学部長とよくケンカされていました。しかし、御自分が病院長になられた時は、心臓血管外科には特に厳しく対処され、「自分が病院長をしているからこそ心臓外科には厳しくする」と言われ薬剤の使い方や検査、医療用品の使い方など保険医療やコストに関しては厳しくチェックされていました。私も安定している糖尿病の患者さんにルーチンで毎日血糖を測定して、浅尾教授から「慢性的に検査したらイカンよ、血糖の値で薬を変更しましたか?意味のない検査は患者さんの負担になるだけだよ」と怒られました。確かに仰るとおりです。今になって良く理解できます。自他共に妥協をしない厳しい先生でした。

最後は肝臓癌で亡くなられましたが、我々にもお隠しになっておられ、前日まで車の運転をされていたとの事です。最後は福大の卒業生の病院で安やかに永眠されたと聞いております。同門会としては大きな柱を失ったような喪失感を感じております。個人的には、不肖の弟子としてもう一度叱ってもらいたかったです。

最後に浅尾教授の口癖：「メシより患者」「腰に風船」、いずれも我々医局員を叱咤激励するお言葉でした。

「穴井君はもっとまともな文章が書けんとな?」という声が聞こえそうです。駄文でスママセン。

浅尾先生、安らかにやすみ下さい。

野田萬里先生を悼んで

医療法人 大城医院理事長・院長 大 城 昌 平 (1 回生)



第1回生として卒業された野田萬里先生が平成26年1月2日に逝去されました。1月2日夜、新年の晩酌を楽しんでおりましたところ、突然の悲報が入り、青天の霹靂の思いで

した。大学で麻酔科と一外科という密接な仕事上の付き合いだけでなく、同じアパートの3階と4階に居を構え、長男同士も1歳違いでいつも一緒に遊んでおり、家族ぐるみの付き合いをさせてもらっておりました。

平成1年に小生が柳川で開業後、野田先生も平成4年に大牟田市にペインクリニックを開業され、小生が手術を行うときにはいつも麻酔に来てもらっておりました。不幸なことに5年前に肺に腫瘍が発見され、手術後化学療法を続けながらペインクリニックの仕事に復帰され、小生も安心しておりましたが、病魔は殲滅されておらず、1年前から再び腫瘍との壮絶な戦いを続けてこられました。残念ながら刀折れ、矢玉尽き、悲しい結果を受け入れざるを得ません。

野田先生、呼びかける言葉もありませんが、ご長男は立派に医師として成長されており、近い将来、先生が築いてこられた地域の患者様の信頼を受け継ぐべく、帰ってこられるとのことでした。

安心して安らかにお眠りください。

故 松岡俊秀先生 追悼文

高嶋整形外科 院長 高 嶋 研 介 (6 回生)



モリシゲ・・・彼は1975年のラグビー部新歓コンパで「琵琶湖周航の歌」を歌い、以後本名で呼ばれる事はめったになかった。学生時代は、ほぼ毎日顔を合わせていたが、卒後は会う機会がほとんどなく、年賀状のやり取りだけ続いていた。彼は早々に実家に帰り、又、体調をくずして会合に出て来なかった。最後に会ったのは15年前、「出て来ないからこっちから行こう。」という話になり、彼の地元下関に同期6人で集まった時だった。泊まりがけで酒を飲み、昔話をして昔のように笑い合った。彼からの最後の賀状には「長く病気で休診していたが復帰する。」とあった。自分は「今年はOB会で会おう。」といつものように書いたと思う。それはもう永遠に叶わない。

昔聞いた「旧友は作れない。」という言葉が年々重く感じる。たしかに旧友は減るばかりだ……。あの夏の日々、何十年後かにモリシゲの追悼文を書く事になるなんて夢にも思わなかった。

冥福を祈る。

高嶋研介

写真は1981年、第33回西医体のものです。最前列中央がモリシゲです。

故 鶴信彦先生へ捧ぐ

(医)善和会 渡辺クリニック理事長 院長 渡 辺 大 介 (2回生)

謹んで鶴信彦先生のご霊前に福岡大学医学部ラグビー部OB会を代表して、お別れの言葉を捧げます。このたび、先生のご逝去(平成25年12月22日)の報に会員一同言いようのない驚きと深い悲しみに沈んでおります。

御子息の昌太先生をはじめ御家族の悲しみはいかばかりか私達会員一同胸中を察しております。ここに御家族の皆様へ一同深く哀悼の意を表します。

さて、故鶴先生と言えば大学時代、医学部ラグビー部11番を務めていました。人並み外れたラグビーへの情熱、走力を持った男でした。創部当初私達はじめ君とともに今の福大医学部ラグビー部を築き上げた一人です。当時の泥と汗と涙は、昨日のように思い出されます。また、試合に勝っても負けても果敢に挑む勇気とチャレンジ精神は、福大医学部ラグビー魂、精神を築いた一人でもあります。よく怪我をされ

ていましたが大変頑張っていたことを思い出されます。40年の伝統の中に培われてきた福大医学部ラグビー魂、精神をいつまでも財産とし、また心の糧として君は長崎大内科で良き医師としてまた社会人としてご活躍されていた矢先、61歳という若さで他界するなんて誰が想像できたでしょうか。誠に痛恨の極みであります。

昌太先生、奥さまをはじめ御家族様のご心情をお察し致しますとき、まことに断腸の思いが致します。そして今はただ会員一同、先生のご冥福をお祈り致しますとともにラグビーを通じ昌太先生の良き医師として良き社会人として育成されることをお誓い申し上げお別れの言葉と致します。

鶴信彦先生さようなら

(平成26年3月29日)

福岡大学医学部2回生 渡 辺 大 介



VS 岩手医科大学 (北九州若松グラウンド)
○枠内が故 鶴信彦先生

医局長・医長名簿

(○内の数字は福大医学部卒業回)

平成 26 年 4 月現在

	医 局 長	病棟医長	外 来 医 長
[福 岡 大 学 病 院]			
	戸 川 温	猪 狩 洋 介 ⑳	後 藤 敏 孝
内 分 泌・糖 尿 病 内 科	田 邊 真 紀 人	永 石 綾 子 ㉓	村 瀬 邦 崇
循 環 器 内 科	上 原 吉 就 ⑯	福 田 佑 介	八 尋 英 二 ⑱
消 化 器 内 科	竹 山 康 章 ⑮	渡 邊 隆 ⑳	青 柳 邦 彦
呼 吸 器 内 科	白 石 素 公 ⑪	石 井 寛	廣 田 貴 子
腎 臓・膠 原 病 内 科	安 部 泰 弘 ㉑	安 野 哲 彦 ㉒	三 宅 勝 久
血 液 浄 化 療 法 セ ン タ ー		笹 富 佳 江 ⑬	
神 經 内 科・健 康 管 理 科	津 川 潤	深 江 治 郎	福 原 康 介 ㉔
精 神 神 經 科	田 中 謙 太 郎 ㉕	縄 田 秀 幸 ㉖	内 田 直 樹
〃 (ディケア)			吉 田 公 輔
小 児 科	井 手 口 博 ⑩	井 手 康 二 ㉗	吉 兼 由 佳 子 ⑲
消 化 器 外 科	橋 本 竜 哉 ㉑	武 野 慎 祐	谷 村 修
呼 吸 器・乳 腺 内 分 泌・小 児 外 科	濱 武 大 輔 ㉒	吉 田 康 浩 ㉒	柳 澤 純
整 形 外 科	金 澤 和 貴	信 藤 真 理 ㉒	白 地 仁 ㉓
形 成 外 科	大 山 拓 人 ㉔	川 上 善 久	木 村 広 美
脳 神 經 外 科	野 中 将 ⑯	湧 田 尚 樹	勝 田 俊 郎
心 臓 血 管 外 科	西 見 優	助 弘 雄 太	峰 松 紀 年
皮 膚 科	古 賀 文 二 ㉓	大 賀 保 範	立 松 沙 織 ㉔
泌 尿 器 科	松 岡 弘 文 ⑧	中 村 信 之 ⑩	古 屋 隆 三 郎 ㉓
産 婦 人 科	小 濱 大 嗣 ⑮	讚 井 絢 子 ㉒(産科)	宮 原 大 輔 ㉒
〃		勝 田 隆 博 ㉒(婦人科)	
眼 科	梅 田 尚 靖 ⑱	外 尾 恒 一 ㉒	有 田 直 子 ⑮
耳 鼻 咽 喉 科	上 野 哲 子 ㉒	福 崎 勉 ㉒	佐 藤 晋 ㉒
放 射 線 科	高 良 真 一 ⑱	赤 井 智 春 ㉒	品 川 喜 紳
麻 酔 科	重 松 研 二 ㉑	平 田 和 彦 ⑫	平 田 和 彦 ⑫
歯 科 口 腔 外 科	大 谷 泰 志	青 柳 直 子	高 岡 昌 男
病 理 部	溝 口 幹 朗 ⑥		
臨 床 検 査 部	松 本 直 通 ⑭		
輸 血 部	熊 川 みどり		
救 命 救 急 セ ン タ ー	梅 村 武 寛	田 中 潤 一	
総 合 周 産 期 母 子 医 療 セ ン タ ー		中 村 公 紀 ⑯(新生児部門)	
〃		廣 瀬 龍 一 郎 ⑬(階南病棟)	
総 合 診 療 部	武 岡 宏 明 ㉕	鯨 坂 和 彦 ㉒	鍋 島 茂 樹 ⑬
東 洋 医 学 診 療 部	久 保 田 正 樹 ⑭		
[福 岡 大 学 筑 紫 病 院]			
福 岡 大 学 筑 紫 病 院 総 医 局 長	市 川 大 輔 ㉕	(耳 鼻 い ん こ う 科)	
循 環 器 内 科	※ 東 條 秀 明 ⑰	岡 村 圭 祐 ㉒	森 憲 ㉑
内 分 泌・糖 尿 病 内 科	工 藤 忠 睦 ㉓	阿 部 一 朗	小 林 邦 久
呼 吸 器 内 科	宮 崎 浩 行	赤 木 隆 紀 ㉑	児 玉 多 ㉒
消 化 器 内 科・内 視 鏡 部	久 部 高 司 ⑰	矢 野 豊 ㉒	二 宮 風 夫 ㉒
小 児 科	井 上 貴 仁 ⑮	中 村 紀 子	橋 本 淳 一 ⑲
外 科	平 野 公 一 ㉑	平 野 由 紀 子 ㉓	三 宅 徹 ㉓
整 形 外 科	秋 吉 祐 一 郎	櫻 井 真 ㉒	城 島 宏 ⑭
脳 神 經 外 科	伊 香 稔	坂 本 王 哉 ㉒	新 居 浩 平 ㉒
泌 尿 器 科	平 浩 志 ⑮	平 浩 志 ⑮	宮 嶋 哲 匡 ⑲
眼 科	佐 々 由 季 生	佐 々 由 季 生	佐 々 由 季 生
耳 鼻 い ん こ う 科	市 川 大 輔 ㉕	市 川 大 輔 ㉕	坂 田 俊 文 ⑩
放 射 線 科	藤 井 暁 ⑮		
救 急 科	市 来 玲 子 ㉒		
麻 酔 科	生 野 慎 二 郎 ⑧		
病 理 部	原 岡 誠 司		

(※筑紫病院の印は、循環器内科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、消化器内科の代表医長)

教育職員人事 (講師以上)

(○内の数字は福大医学部卒業回)
[平成 25.10.2 ~ 26.4.1]

区分	所属	資格	氏名	発令日	摘要
休職	生化学	講師	四元房典	25.10.30	
任命	心臓・血管内科学	医学部長	朔啓二郎①	25.12.1	
	腫瘍・血液・感染症内科学	病院長	田村和夫	25.12.1	
	形成外科学	副病院長	大慈弥裕之③	25.12.1	
	耳鼻咽喉科学	副病院長	中川尚志	25.12.1	
	呼吸器内科学	副病院長	中島衡	25.12.1	
	筑紫眼科	筑紫病院長	向野利寛	25.12.1	
	筑紫循環器内科	筑紫副病院長	浦田秀則③	25.12.1	
	筑紫内分泌・糖尿病内科	筑紫副病院長	小林邦久	25.12.1	
	筑紫整形外科	筑紫副病院長	柴田陽三④	25.12.1	
退職	産科婦人科学	教授	瓦林達比古	26.3.31	定年退職
	麻酔科学	教授	比嘉和夫	26.3.31	定年退職
	麻酔科学	准教授	仁田原慶一	26.3.31	
	消化器内科	講師	岩田郁⑬	26.3.31	
	腎臓・膠原病内科	講師	小河原悟⑦	26.3.31	
昇格	皮膚科学	教授	今福信一	26.4.1	
	筑紫耳鼻いんこう科	教授	坂田俊文⑩	26.4.1	
	薬理学	准教授	喜多紗斗美	26.4.1	
	法医学	准教授	柏木正之	26.4.1	
	神経内科学	准教授	深江治郎	26.4.1	
	産婦人科	講師	伊東裕子⑳	26.4.1	
	筑紫眼科	講師	佐々由季生	26.4.1	
	整形外科	講師	金澤和貴	26.4.1	
	消化器外科学	講師	橋本竜哉㉑	26.4.1	
	法医学	講師	松末綾	26.4.1	
	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科学	講師	吉田康浩㉒	26.4.1	
	救命救急センター	講師	田中潤一	26.4.1	
	筑紫脳神経外科	講師	伊香稔	26.4.1	
筑紫脳神経外科	講師	坂本王哉㉓	26.4.1		
採用	麻酔科学	教授	山浦健	26.4.1	
	放射線部(第1第2)	講師	黒木嘉典⑬	26.4.1	
復職	呼吸器内科	講師	内野順治	26.4.1	
休職	総合周産期母子医療センター	講師	太田栄治⑲	26.4.1	
	筑紫耳鼻いんこう科	講師	山野貴史⑱	26.4.1	
	眼科学	講師	小沢昌彦⑮	26.4.1	

在外研修援助金受給者一覧

姓名	年度	回	勤務先	地位役職	予定期間	留学先	支給額
四元 房典	24	準会	福岡大学医学部 生化学	講師	1211-1410	Sanford-Burnham Medical Research Institute, La Jolla, CA, United States	20万円
桑原 豪	24	27	福岡大学医学部 心臓血管外科	福大 大学院生	1304-1503	New Haven, Connecticut Department of Surgery, Section of Vascular Surgery Yale University School of Medicine	20万円
吉田 康浩	25	24	福岡大学医学部 呼吸器・ 乳腺内分泌・小児外科学	福大助教	1307-1401	アメリカボストン、Dana-Farber Cancer Institute	20万円
石井 敦士	25	30	福岡大学筑紫病院 小児科	福大助手	1309-1508	Center for Human Genome Variation, Duke University School of Medicine	20万円
佐藤 絵美	25	30	福岡大学医学部 皮膚科学	福大 大学院生	1309-1508	Division of Dermatology, Department of Medicine, University of California, San Diego	20万円
中里 玲	24	M4	福岡大学医学部 医学科	学 生	130304-130310	Massachusetts General Hospital28 回生 米良利之先生引受	10万円
井上 菜保子	24	M4	福岡大学医学部 医学科	学 生	130304-130310	Massachusetts General Hospital28 回生 米良利之先生引受	10万円
北村 由依子	25	M3	福岡大学医学部 医学科	学 生	130818-130821	Massachusetts General Hospital28 回生 米良利之先生引受	10万円
中田 安香	25	M3	福岡大学医学部 医学科	学 生	130818-130821	Massachusetts General Hospital28 回生 米良利之先生引受	10万円
大西 葉月	25	M3	福岡大学医学部 医学科	学 生	130818-130821	Massachusetts General Hospital28 回生 米良利之先生引受	10万円

福岡大学医学部同窓会

在外研修援助金 募集要項

①長期研修

対象：正会員、準会員（本会会費完納を条件とする）で医学の研究または医療技術の習得のため、
3ヶ月以上外国に留学する者

申請方法：所定の申請書により留学出発3ヶ月前までに提出のこと

提出先：〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1 福岡大学医学部同窓会事務局
TEL 092-865-6353(直通) 代表 092-801-1011 内線 3032
FAX 092-865-9484

援助金：1件20万円を限度とし、年間5件以内

発表：本人に文書にて連絡

その他：①受給者は帰国後その成果を同窓会会報に発表すること
②申請書は同窓会事務局に請求又は烏帽子会ホームページからダウンロードのこと
③研修中に生じた問題について同窓会は関与しない

①短期研修

対象：学生会員（本会会費完納を条件とする）で人格、志向に秀で学業成績優秀（総合点80%以上）な
3年生以上

申請方法：所定の申請書により提出のこと

提出先：〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1 福岡大学医学部同窓会事務局
TEL 092-865-6353(直通) 代表 092-801-1011 内線 3032
FAX 092-865-9484

援助金：1件10万円を限度とし、年間5件以内

発表：本人に文書にて連絡

その他：①受給者は帰国後その成果を同窓会会報に発表すること
②留学先、留学時期は必ずしも希望に添うとは限らない
③研修中に生じた問題について同窓会は関与しない
④申請書は同窓会事務局に請求又は烏帽子会ホームページからダウンロードのこと

※準会員・学生会員の方もご応募下さい。

平成 27 年度 福岡大学医学部同窓会 研究奨励賞 募集要項

対 象：正会員及び準会員で、40 才未満の者または学部卒業後 10 年未満の者
(本会会費完納を条件とする)

研究課題：医学に関するものであれば自由（医学に関する研究論文又は研究計画）

申請方法：所定の申請書による（所定欄に支部長推薦を要す）

提出先：〒 814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1 福岡大学医学部同窓会事務局
T E L 092-865-6353（直通） 代表 092-801-1011 内線 3032
F A X 092-865-9484

締 切：平成 27 年 4 月 30 日（木）

賞状・賞金：奨励賞（優秀論文賞を含む）5 件以内

発表及び表彰：平成 27 年 7 月、第 34 回同窓会総会席上 必ず出席すること

そ の 他：①論文受賞者は抄録を提出すること

計画受賞者は 1 年後研究成果報告書を提出すること

②申請書は同窓会ホームページからダウンロードするか、同窓会事務局に請求のこと

③申請書はワープロで記載し、過去の研究業績（原著、著書、症例報告、学会発表）、
研究の独創性・重要性を十分に書くこと

※準会員の方もご応募下さい。

お知らせ

福岡大学病院新館隣、メディカルホール二階の同窓会ラウンジは同窓会員、病院、医学部職員の小規模研究会や会合、懇親の場として親しまれてきています。同窓会ラウンジを使った会合を、より有意義なものにするため、このたび大型ガラステーブル、音響機器一式（ワイヤレスマイク、アンプ、スピーカー）を寄贈し設置が完了しました。今回の寄贈に関して、学部長からも感謝の言葉が寄せられました。学内同窓に限らず、学外同窓会員の皆様も会合の場として同窓会ラウンジをご利用下さい。ご利用に際しては前もって医学部同窓会事務局が病院庶務課までご連絡下さい。／文責 林英之（1 回生）



結婚はタイミングです。

出会いの機会を上手く利用して下さい。

出会いを演出するのが“縁結び”です。

現在、企画を計画中です。台コン、パーティー etc..

良いアイデアを募集します！

“縁結び”は継続して行います。

今回も登録用紙を同封しています。

ご記入のうえ、沢山の登録をお待ちしております。

Be Happy



事務局より

12 回生 新垣元先生 [功労賞] 日本医師会会長表彰

平成 25 年 11 月 1 日 第 66 回日本医師会設立記念医学大会において、

「東日本大震災の被災地における精神科医療体制の充実・発展に貢献した功労者」として表彰されておられます。同窓の先生よりご連絡いただきました。

新垣先生おめでとうございます。

今年より研修をスタートされて先生方は勤務先をお知らせ下さい。先輩方が歓迎会や講演会などの連絡を差し上げたいと言われております。会報にあります住所・勤務先変更連絡票にて事務局までお願いいたします。

福岡大学医学部同窓会

事務局長 小山久美



TOP TEN Medical Students



編集後記

2014年春号の烏帽子会報をお届けします。今春も医学を志す110人の新入生が我が福岡大学医学部医学科に入学されました。朔教授が我が母校の医学部長に就任され、今後ますます学生教育も充実していくものと期待が高まるとともに我が同窓会も更に団結し努力をしていかなければと再認識しております。また、第33回烏帽子会総会も平成26年7月5日に予定されていますので多数の同会生の御出席をお待ちしております。会報作成にあたり、関係部署の方々にご協力をいただき誠にありがとうございました。これからも皆様のご支援とご協力よろしく申し上げます。

8回生 岩隈 昭夫(会報担当)

烏帽子会会報第56号

発行日 平成26年5月15日
発行人 高木 忠博
編集人 大慈弥裕之

発行所 〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1
福岡大学医学部同窓会
電話:092-865-6353(直通)
092-801-1011(代表) 内線[3032]
FAX:092-865-9484
E-mail:eboshi@minf.med.fukuoka-u.ac.jp

印刷所 ロータリー印刷(株)
福岡市中央区長浜2-1-30
電話:092-711-7741
FAX:092-711-7901